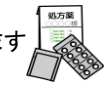
扁桃炎クリニカルパス　　様

		入院日　　/	2日目　　/	3～5日目　　/　　～　　/　　（退院日）
検温		入院時 状況により適宜行います	1日1回 状況により適宜行います	
観察		のどの痛み、飲み込んだ時の痛み、体温、体のだるさの観察を行ないます。ちょっとした変化でも医師、看護師にお知らせください		
安静		自由に動けます		
食事		症状に合わせて、食べられるものを相談してお出しします 		
清潔		熱がない場合はシャワー浴ができます 熱がある場合は、状況にあわせて体を拭くことができます 		
排泄		制限はありません		
診察 処置		入院後診察があります （病棟内の診察室で行います）	毎日診察があります （9時15分頃放送が入り、病棟医が行います） 	
検査		採血があります		必要に応じて採血があります
薬物 療法	点滴	抗生物質の点滴を行ないます （抗生物質と補液をします。補液は食事が摂れ次第、減らしていきます） 		退院日の朝、抗生物質と腫れを抑える点滴をし、診察後針を抜きます
	内服薬	常用薬を看護師がお尋ねします 解熱鎮痛剤を毎食前に飲みましょう（痛くなければ飲まなくてもいいです） （看護師が薬をお持ちします）		退院日の夕方からお飲みいただく抗生物質・整腸剤を必要に応じお渡しします 
説明 指導 退院計画		病棟内について説明します 入院までの経過を看護師がお聞きします 入院診療計画書をお渡しします 薬剤師から薬の説明があります		退院が決まったら退院後の生活の注意点について説明します 退院日、次回外来について診察時に説明します 退院日に診察券、次回外来の予約券、退院療養計画書、内服薬をお渡しします 薬剤師から退院後の服薬の注意点について説明します（必要時） （日曜・祝日は看護師が説明します）  
		痛みの程度・場所・痛みの性質、その他の症状と合せて確認していきます 痛みがある場合は、薬の使用などを相談します 痛みに応じて、身の回りのお手伝いをします 夜間、眠れているか観察していきます 発熱・傷の状態を観察していきます		
目標		オリエンテーションの説明内容が理解できる 痛みがある時は我慢せずに、痛みの部位やどんな痛みであるか （痛みの程度は数字の 0から10「0：痛みなし　10：すごく痛い」）を医療者へ伝えることができる 痛みに合わせて内服の管理を行い痛みがコントロールされる （5分粥以上で）食事が（5割以上）摂取できる 点滴と経口摂取で必要量の水分摂取ができる		退院の生活の注意点がわかる

※症状・経過によってスケジュール通りにならない場合があります。

2006年 2月作成（2023年4月改訂）　パス委員会承認　聖隷浜松病院　B4病棟